

---

# いのちの雫

西崎想

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

いのちの雫

### 【Nコード】

N6393Z

### 【作者名】

西崎想

### 【あらすじ】

ひとつの、生命の話。  
暗い、闇から始まった、生命……。  
どこなのか、  
私は、なんなのか。  
しらないものの……はなし。

知っている

私は……、

わたしは……

？

ここは？

暗い……。

わたしは、なんなの？

どこに、わたしは……。

ここは？

ワタシ、なに？

クライ……、

なんか、ながれている……。

みず……。。

みずだ……。。

だれか……。。

わたしは……。。

？

こえ……。？

どっ？ じゃは……。。

なんにも、ふねられない……。、

やぶこさ……。、

？

さびしい……とうとう、かんじょうを、

私は、知っている……。

つち？

つち……。

つちだ……、

わたしは……この静寂を……

いつもの……せいじゃくを……

知っている……。

水を飲まして

雫が落ちる。

チャアア……ン

波紋だ……。

広がっていく……、

私は、この感覚をしっていた。

？

痛い……

この感覚も、

知っている。

水を、舐めようとする……。

しかし、できない。

もがく……

そして、

何かが、私を掴んだ。

だれ？

私を掴むのは……？

私は、水を、

飲みたいだけ……

なのに……。

私の話、

聞いてくれない？

誰か……。

私に、

愛の、

手を。

ワタシ、

ずっと、一人

なの。

触れている、この感覚は。



なんだろう……？

誰か、

いるの？

誰か、

私に、水を、飲まして。

私の、

乾いた、  
喉に。

## 気持ち

熱い気持ち、

寂しい気持ち、

怖い気持ち、

嬉しい気持ち、

を、私は持っている。

私は、私である限り、

この気持ちの、「種類」も、おんなじ。

私は、なぜ、こうして、意思を持っていながら、

「なんにもない」のだろうか？

私は、何者で、

時に、私を掴んでいる、

この、感覚は、なんだろう。

”無”

が、私を支配している。

私を、誰か、

ここから、

動かして。

私は、なんていう名前。なのか。

私の顔は？

足は？

手は？

誰か、私に、

教えて。

何者かに、なれているのか……、

誰が、私のそばに、いるのか。

私は、なに？

それを、私は、

知りたい。

解った

誰か、

私を、

触っている？

誰？

私は、その、「なにか」を掴んだ。

？

なんだろう、

私の手を、触っている、

なんか……。

？

書いている？

私の手に、

何かを、書いているの？

私に、伝えようと、しているの？

「ママ？」

そう、書いたのね。貴方。

私は、その手に、

「お母さん」

と、書き返した。

何かが、私を抱きしめた。

ああ……、お母さんね。貴方は。

思い出したわ。

私は、葵。

そう、私は、この闇の前、凄い熱が出た。  
そして、気を失った。

私は、12歳。

中学校に行こうと、張り切っていた。  
が、突然の高熱が私を襲った。

ああ、私の前にいるの、お母さんね。

「わたし、どうしちゃったの？」

そう手に書く私。

すると、お母さんが、手に字を書いた。

「目と、耳が、機能を失ったの……!?!」

えー！？

どうすればいいの？

「それ、治るの？」

と、私。

「リハビリ次第……!?!」

そんな……。

「頑張って」

そう、私の手に、書かれた文字。

「頑張れば……、見える、聞こえる。よつになるの？」

「必ず、治して見せるから」

そうか……、

早く、元のあの綺麗な景色を、見たい。

私は、お母さんに、字を書いた。

「頑張ったら、また、海へ、連れてってくれる？」

と、

「もちろん」

「私に、彼氏も、出来る？」

「そうよ」

「大きな、犬、飼っていい？」

「ええ」

私は、深呼吸をした。

「それじゃあ、まず、エクレア食べたいな」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6393z/>

---

いのちの雫

2011年12月24日03時48分発行